



2018年1月 第432号

# スズキ労連

2018年  
新春号

スズキ関連労働組合連合会  
静岡県浜松市南区増楽町20  
電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838  
発行人 武藤憲司  
編集人 小松秀忠



## 謹賀新年

スズキ労連 会長 武藤 憲司



スズキグループで働く組合員とご家族の皆さん、明けましておめでとうございます。

旧年中は、スズキ労連の諸活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

昨年2017年10月22日投開票の第48回衆議院議員総選挙におきまして、皆さんの多大なるご支援をいただいたことに感謝申し上げます。結果は、皆さんご存知の通り、政権与党の圧勝ではありますが、比例代表での各政党の得票数を見ると、希望の党・立憲民主党の合計では2,076万票と前回の民主党(現民進党)977万票から大きく伸びており、一強体制への反発も垣間見える結果だと受け止めています。しかし、政権与党が絶対安定多数となる313議席を獲得している事は事実です。私たちの子・孫の世代に付けを回さない政策実現に向け、私たち働く者の代表である組織内議員をはじめ支援議員の皆様には一層のご活躍を期待したいと思います。

さて、AIやIoTがもたらす第4次産業革命によるエンジンからモーターへのシフトは、自動車産業の構造そのものを大きく変え、事業の存続をも左右する問題となりかねません。我々の上部団体である自動車総連は、組合員が将来に亘って安心して働き、生活していくために、産業内で産み出した付加価値は産業内で循環させる「付加価値の最適循環運動」に現在取り組んでいます。スズキ労連としても、スズキグループで働く皆さんの仕事と生活を守る提案・活動を引き続き進めて参りたいと思います。

今、スズキグループは過去に経験の無い多くの困難と課題に直面しています。スズキ労連全員の知恵と連携で、生活を守り高めていくための活動を展開し、みんなで明るい未来を築いて参りましょう。

本年もスズキ労連執行部一同、全精力を傾注して参りますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い致します。(2017年12月6日執筆)

## 本年もよろしくお願ひ致します。

スズキ関連労働組合連合会 役員一同

スズキ労働組合

平岡ボデー労働組合

スズキ部品製造労働組合

スズキ輸送梱包労働組合

ベルソニカ労働組合

スズキ部品秋田労働組合

スニック労働組合

小楠金属・熱処理労働組合

スズキ部品富山労働組合

スズキ新潟販売労働組合

岐阜スズキ労働組合

スズキ販売労働組合

スズキ納整労働組合

スズキファイナンス労働組合



## 1年の計は元旦にあり 静岡県議会議員 田口 章

謹んで新春のお慶びを申し上げます。「1年の計は元旦にあり」と申します。みなさまの“今年の計”は何でしょうか？充実した年になりますようご祈念申し上げます。

さて静岡県は2018年度からの“10年の計”となる「静岡県総合計画」の策定を進めています。「安全・安心な地域づくり」「未来を担う人材の育成」「豊かな暮らしの実現」「魅力の発信と交流の拡大」を4つの基本方向とし、県民幸福度の最大化を目指すべく、議会の議論をはじめ、審議会やパブリックコメントなどで県民のみなさんから意見を聞き検討しています。

私が議員になってからの10年前、人口減少、グローバル化、IT化など社会は大きく変わりました。一方、地震防災対策やセーフティネットの充実など住民の命を守るという行政の使命は一層の強化が求められるようになりました。

世界に目を向けると人口増加、食糧問題、エネルギー問題、地球温暖化、テクノロジー進展に伴うAIやフィンテックの導入等々、ものすごい勢いで複雑化、多様化が進んでいます。国連が定めるSDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)もあります。次の10年はこうした時代潮流を踏まえる必要があります。

こうした時こそ私は、現状の延長線で考えるのではなく、あるべき姿を見据えた“バックキャスト”の発想が必要と考えています。「守るべきものを守り、変えるべきものを果敢に変えていく」。こうした気概を持って進めていきます。

結びになりますが、私の今年の計は「現場主義」。これまで以上に「現場・現実・現物」をよく見聴きし、将来を見据えて政策実現につなげていきます。今年もご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



## 満150年の節目の年に思う 浜松市議会議員 徳光卓也

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2011年4月の統一地方選挙で、初めて浜松市議会議員となってから7回目の新年を迎えることができました。これもひとえに皆様のおかげと感謝申し上げます。今後も全力で市政に取り組んでまいりますので、これからも、皆様の仲間として応援をいただけたら幸いです。

今年は、明治元年(1868年)から起算して「満150年」の節目の年に当たるそうです。明治元年の日本の人口は約3,400万人。江戸時代後期(1720年頃)から明治元年までの150年で、人口は3,100万人から3,400万人と緩やかな増加でしたが、明治元年以降、急激に人口は増加し、日本の人口のピークといわれる2008年には約1億2,800万人に達しました。明治元年の約4倍に増加したことになります。この我が国の人口が徐々に減少しています。

この人口減少社会は、我が国が避けて通れない現実です。だからこそ、人口減少カーブの緩やかな今こそ少子化対策や高齢化対策などを着実に実行していかなければなりません。我々地方議員が「ゆで蛙」になってはいけませんが、まだ地元の道路修繕など、目先のことしか見ていない議員がいるのも事実です。組織内議員として活動している私は、次の150年を見据えて、今何をすべきかを考えながら活動して参りたいと思います。

今年の干支は戌(いぬ)。“戌はお産が軽い”ということで、戌の日に安産祈願をされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？戌にあやかり、少子化対策が加速する年にしたいものですね！

今年も、どうぞよろしく願いいたします。



### 参議院議員 いそざき哲史

佳き年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

民進党は「希望の党」「立憲民主党」「無所属」「民進党」に分裂してしまいましたが、先の衆院選で希望・立憲民主が獲得した比例票の合計は2076万票となり、自民党の1856万票を上回りました。

この結果をしっかりと受け止めれば、これまでのような単なる賛成・反対の極端な区別ではなく、お互いの主張の相違を踏まえて丁寧な論議ができる、政策を軸とした枠組みこそが、今、国会に求められている姿ではないかと思っています。

今後も“職場原点”を基軸に、仲間の思いを政策に反映させるべく取り組んで参ります。(2017年12月6日執筆)



### 参議院議員 はまぐち誠

明けましておめでとうございます。昨年は、解散総選挙、民進党の分裂等、「政治は、一寸先は闇」とも言える激動の1年となりました。こうした中でも、自動車総連、12労連、47地協をはじめとする自動車産業に集う仲間の皆さんには、全国各地でご支援をいただき、誠にありがとうございました。

今年も、国会で議論すべきテーマは、働き方改革、自動車関係諸税等の産業政策、子育て支援や介護等の社会保障、財政再建、北朝鮮問題、憲法改正等、枚挙に暇がありません。民進党としても、こうした課題に対する政策や考え方を、しっかり打ち出していくことが肝要です。

今年も、変わらぬご支援を宜しくお願い致します。(2017年12月6日執筆)

どんなことでもOK!  
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連  
労働相談  
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…  
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073  
\*月~金 9:00~18:00  
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】 機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20  
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838  
e-mail : kaneko@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇  
<http://saw.gogo.tc/>  
\*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙  
共通パスワード… saw2007

【編集後記】 新年あけましておめでとうございます。今年はどうなる年でしょうかと思いを巡らせてみるのも良いことだと思います。目標を立てたものの、日常の生活に追われ、いつの間にか忘れてしまう自分があります。今年目標を達成できるようにしていきたいです。 まーつー